

安全データシート

1. 製品および会社情報

製品名 : カプセル型メンブレンフィルター
R F 0 0 0 2 6 0

会社名 : 株式会社東洋製作所

本社住所 : 〒277-0861 千葉県柏市高田1335

担当部門 : 大阪工場 品質管理課

電話番号 : 072-967-1360

F A X : 072-967-1370



推奨用途および使用上の制限 : 蒸留水製造装置
超純水製造装置
純水製造装置
電気透析純水製造装置
高純度純水製造装置

2. 危険有害性の要約

G H S 分類 :

物理化学的危険性 : 分類対象外。

健康に対する有害性 : 分類できない。

環境に対する有害性 : 分類できない。

ラベル要素 : なし。

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名または一般名 : カートリッジフィルター

主成分 : ポリテトラフルオロエチレン (フィルター)
ポリプロピレン
(ハウジング、ベント・ドレイン、コア、エン
ドキャップ、プロテクター)
ポリエチレンテレフタレート
(サポートメディア)

化学式又は構造式 : ポリテトラフルオロエチレン (CF₂-CF₂)_n
 ポリプロピレン [CH₂-CH(CH₃)]_n
 ポリエチレンテレフタレート
 [OCH₂CH₂OCOC(C₆H₄)CO]_n

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

化審法 : ポリテトラフルオロエチレン (6)-939
 ポリプロピレン (6)-402
 (6)-10
 ポリエチレンテレフタレート (7)-1022
 C A S 番号 : ポリテトラフルオロエチレン 9002-84-0
 ポリプロピレン 9003-07-0
 9010-79-1
 ポリエチレンテレフタレート 25038-59-9
 国連分類 : ———
 国連番号 : ———

4. 応急措置

眼に入った場合 : 該当しない。
 皮膚に付着した場合 : 該当しない。
 吸入した場合 : 熱分解により発生するガスの吸引は、一時的にインフルエンザに似た症状を示す。
 症状は頭痛、関節の痛み、一般的不快感、発熱、咳、悪寒、心悸亢進および胸部不快感を生じる。
 医師の診断を受ける。
 (ポリテトラフルオロエチレン)
 飲み込んだ場合 : 該当しない。

5. 火災時の措置

消火方法 : 熱分解による有害ガス(HF、COF₂、CO、CF₂=CF₂など)が発生する虞があるため、消火作業の際は、通常の火災保護具に加え、防毒マスク(有機ガスおよび酸性ガス吸収)あるいはライフゼム等を着用する。
 (ポリテトラフルオロエチレン)
 使ってはならない消火剤 : 情報なし。
 消火剤 : 水(噴霧)、粉末消火剤、泡沫消火剤、二酸化炭素消火剤、ハロゲン化消火剤など。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 情報なし。
保護具および緊急時措置 : 情報なし。
環境に対する注意事項 : 情報なし。
回収・中和 : 情報なし。
廃棄の方法は、【廃棄上の注意】に従うこと。
-

7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い : 高温にさらされた場合は有害ガスを発生する虞があるため、熱源への曝露、接触を避ける。
アルカリ金属、アルミニウム、マグネシウムのような金属との接触を避ける。
(ポリテトラフルオロエチレン)
- 保管 : 変質を防止するため、直射日光、紫外線、水濡れ、高温、低温、高湿、屋外保管を避けると共に、強酸、強アルカリとの接触を避ける。
3,000kg以上の保存時には、消化法(指定可燃物：合成樹脂類)の適用を受ける。
(ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレート)
-

8. 暴露防止および保護措置

- 管理濃度 : データなし。
許容濃度 日本産業衛生学会 : 設定されていない。
ACGIH : 設定されていない。
設備対策 : ——
保護具 : 必要に応じて使用する。
-

9. 物理的および化学的性質

物理的状态

- 外観(物理的状态、形状、色など) : ——
臭い : なし。
pH : データなし。
融点・凝固点 : データなし。
沸点、初留点および沸騰範囲 : データなし。

生殖細胞変異原性	:	データ不足のため分類できない。
発がん性	:	データ不足のため分類できない。
		(混合物として)
		(単一物質として)
		LARK グループ 3(人に対する発がん性は評価できない)に分類されるが、データ不足のため分類できない。(ポリプロピレン)
生殖毒性	:	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性-単回曝露	:	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性-反復曝露	:	データ不足のため分類できない。
吸引力呼吸器有害性	:	データ不足のため分類できない。
その他	:	データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 (急性)	:	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 (慢性)	:	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	:	データなし。
生体蓄積性	:	データなし。
土壤中の移動性	:	データなし。
オゾン層有害性	:	データなし。
その他	:	環境汚染ならびに海洋生物、鳥類などが摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも、投棄、放出してはならない。

13. 廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物として処理する（国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う）。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理をする。

焼却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、水質汚濁防止法などに沿って処理する（廃棄時には、産業廃棄物として処理することをおすすめいたします）。

14. 輸送上の注意

15. 適用法令

化審法

- : 既存化学物質(6)-939
(ポリテトラフルオロエチレン)
既存化学物質(6)-10、(6)-402
(ポリプロピレン)
既存化学物質(7)-1022
(ポリエチレンテレフタレート)

消防法

- : 第九条の四(指定数量未満の危険物等の貯蔵又は取扱いの基準)、危険物の規制に関する政令第一条の十二、別表第四指定可燃物(合成樹脂類。3,000kg以上は消防法の適用を受ける。3,000kg未満の場合、物品の貯蔵および取扱いの技術上の基準は市町村条例で定める)。(ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレート)
-

16. その他の情報

記載内容について

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではなく、注意事項は、通常の実態を前提としたものでありますので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱いなどの実態に応じた適切な措置をお取りくださいますようお願いいたします。

参考文献

- ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)(JIS Z 7253:2012)
-